資格の学校一中成 28 年度東京都 I 類 B (行政・一般方式)論文【問題】

問題

- (1) 別添の資料を参考に、東京において、誰もが安心して快適に利用できる交通を実現していくために、あなたが重要と考える課題を 200 字程度で簡潔に述べよ。
- (2) (1)で述べた課題に対して、都はどのような取組を進めるべきか、あなたの考えを述べよ。

なお、解答に当たっては、解答用紙に(1)、(2)を明記すること。

資料1

今後10年間の道路整備の方向性

Q4 東京都と特別区及び26市2町では、都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、今後10年間で優先的 に整備すべき路線を選定していく予定です。あなたが今後10年間の整備の方向性として、どうあるべきだと思 うものを次の中から3つまで選んでください。

緊急物資の輸送、消防活動などの救援・救護活動のルート確保、震災時における大規模な市街地火災の延焼防止、安全な避難路の確保など防災性を向上させる

自転車レーン等の整備により自転車と歩行者を分離 する

骨格幹線道路(※)の整備により、人やモノの流れを円滑にして、東京の発展に寄与することに加え、防災性の向上、安全で快適な暮らしを実現する

高齢者や障害者、車イスやベビーカーなど、様々な 利用者が安全に通行できる

慢性的な交通渋滞の解消により、時刻表どおりのバス の運行や物流などの経済活動への影響を軽減する

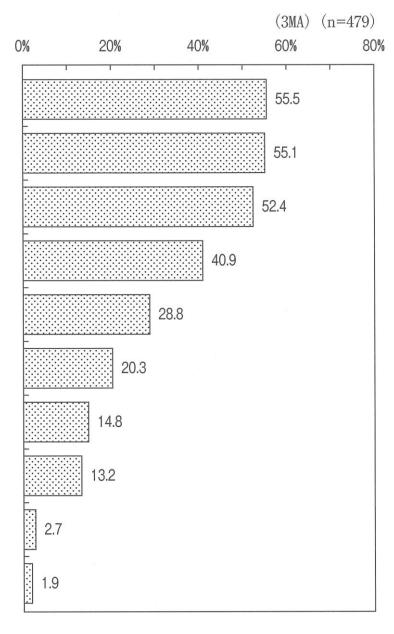
地域の特性を活かした歩行者空間の拡充や緑豊かな 道路空間の形成など、地域と行政が連携したみち づくりを実施する

駅前広場の整備などにより、バスや鉄道などの公共 交通の利用がしやすくなる

幹線道路の整備により、生活道路へ流入する通過 交通を減らす

大規模な宅地開発、区画整理や再開発などによるまちづくりを支援、促進させる

その他



※骨格幹線道路・・・ 都内や隣接県を広域的に連絡し、高速自動車国道をはじめとする主要な道路を結ぶ、枢要な 交通機能を担う幹線道路

その他の主な意見

・歴史と情緒あふれる道路が欲しい。

東京都生活文化局 平成27年度第3回インターネット都制モニターアンケート 「東京都における都市計画道路の整備」より作成

資料2

論点整理

<鉄 道>

- ■バス乗り場の分散や、段差・不連続な雨よけなどにより、乗換 利便性が阻害
- ■新規路線の乗入や都市開発による利用者増に伴い、乗降や 乗換で混雑
- ■ターミナルでは、移動や乗換に必要な情報を認知しづらい
- ■多言語での案内やWi-Fiなど通信環境が不十分

<自動車・自転車・徒歩>

- ■都心部では、依然として道路混雑が発生
- ■自転車と歩行者が輻輳し、交通安全の確保が課題
- ■高齢者等の外出支援、街の回遊性向上に向け、安全で快適な歩行空間の更なる確保が必要

<空 港>

- ■首都圏空港(羽田、成田)の容量は、主に国際線需要の増加 に伴い、2020年代には満杯の見込み
- ■空港容量拡大に対応する空港アクセスの充実が必要

<取り巻く背景>

- ◆国際的な都市間競争の 激化
- ◆少子高齢化や都心回帰 の進展
- ◆環境への意識の高まり
- ◆防災機能の強化
- ◆ICTの進歩など技術革新
- ◆国家戦略特区の指定、 集約型地域構造への再 編
- ◆2020年オリンピック・ パラリンピック開催

東京都都市整備局 平成26年8月26日 第2回東京の総合的な交通政策のあり方検討会 資料「東京の交通が目指すべき将来像と政策目標について」より作成